



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正
(コード番号 2052 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰
(TEL. 045-461-5711)

(訂正) 「平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結) 」
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 19 年 1 月 31 日に発表いたしました「平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結) 」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____を付して表示しております。



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月31日

上場会社名 協同飼料株式会社

(コード番号：2052 東証第1部)

(URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 村井 弘一 TEL：(045) 461—5711

責任者役職・氏名 取締役経理部長 大友 彰

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。

- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	82,057	△0.7	1,592	△26.4	1,580	△23.5	504	△14.6
18年3月期第3四半期	82,654	△3.1	2,164	75.2	2,065	52.0	590	△45.0
(参考)18年3月期	108,223		2,970		2,579		433	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	5	06	—	—
18年3月期第3四半期	5	92	—	—
(参考)18年3月期	4	35	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期（平成18年4～12月）におけるわが国経済は、輸出及び設備投資の伸びにより拡大を示したものの、個人消費が伸び悩み力強さに欠ける展開となりました。

配合飼料業界におきましては、主要原料であるとうもろこしの国際相場は、主産地米国での大豊作が予想され低下傾向にありましたが、エタノール向け需要の急増、中国の輸出抑制並びに豪州での早ばつによる小麦の不作などに伴い、昨年秋から高騰を続けております。また、外国為替相場が期初からほぼ一貫して円安傾向を辿ったこと等により、原材料価格は次第に上昇するところとなり、昨年7月に値下げした配合飼料の製品価格を10月には値上げいたしました。

畜産物につきましては、鶏卵は国内生産が前期における減少からの回復が遅れたこと等から、相場は次第に堅調となりました。肉類は米国産牛肉の輸入が昨年7月に再開されたものの、国内生産が減少傾向を示したため相場は安定して推移しました。

こうした環境にあつて当社グループは、鶏・豚・牛の各畜種において特色ある新製品を発売するとともに、子牛・子豚用の人工乳を中心に販売数量の拡大を図りました。

その結果、売上高は、畜産物事業部門での取扱高の減少などから820億5千7百万円（前年同期比0.7%減）と減収となり、経常利益は配合飼料原料価格の上昇などにより15億8千万円（前年同期比23.5%減）と減益となりました。また、当四半期純利益は5億4百万円（前年同期比14.6%減）に止まりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円
19年3月期第3四半期	<u>50,308</u>	<u>13,472</u>	<u>26.8</u>	<u>134</u> <u>94</u>
18年3月期第3四半期	<u>52,633</u>	<u>14,084</u>	<u>26.8</u>	<u>141</u> <u>15</u>
(参考)18年3月期	<u>46,878</u>	<u>13,817</u>	<u>29.5</u>	<u>138</u> <u>47</u>

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,911	44	△ 1,845	740
18年3月期第3四半期	2,671	△ 427	△ 1,862	1,479
(参考)18年3月期	1,988	△ 75	△ 2,382	629

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期の財政状態を前期末と比べますと、総資産は配合飼料製品の値上げにより売上債権が42億3千7百万円増加したこと等から503億8百万円と34億3千万円増加し、純資産は134億7千2百万円（前期末の株主資本は138億1千7百万円）となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益9億5千万円、仕入債務の増加51億6百万円等により、売上債権の増加等があったものの、19億1千1百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、貸付金回収による収入1億8千8百万円等により、4千4百万円の収入となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、配当金支払2億円、長短借入金の純返済15億2千2百万円等により、18億4千5百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、7億4千万円となりました。

3. 平成19年3月期第3四半期の配当状況（個別）

当社は四半期配当制度を採用しておりません。

4. 添付資料

- ① 要約四半期連結貸借対照表
- ② 要約四半期連結損益計算書
- ③ 要約四半期連結株主資本変動計算書
- ④ 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑤ セグメント情報

以上

[参 考]

平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）

下表のとおり、平成 18 年 11 月 10 日公表の業績予想の修正はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 108,000	百万円 2,500	百万円 800

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 8 円 02 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

引き続き国際飼料穀物相場の上昇と外国為替相場の円安傾向を受けて、本年 1 月に配合飼料製品価格の値上げを実施いたしました。今後の見通しにつきましては、世界的な穀物需給動向が不透明であることや、再びわが国で発生が確認された高病原性鳥インフルエンザの拡大懸念等、見極め難い環境となっております。

こうした中で、当社グループは、飼料事業部門においては一層の販売数量増加により、畜産物事業部門においては特色ある畜産食品の開発により、業容の拡大と収益力の向上を図っており、予想通りの業績を確保するべく努めておりますので、通期の業績予想の修正はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)	前連結 会計年度末 (18.3.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (17.12.31)
(資産の部)				
I 流動資産	25,470	20,684	4,786	24,857
現金及び預金	743	632	111	1,483
受取手形及び売掛金	19,477	15,240	4,237	18,808
たな卸資産	3,706	2,993	713	2,910
繰延税金資産	85	142	△ 57	248
短期貸付金	319	334	△ 14	471
その他	1,217	1,372	△ 155	973
貸倒引当金	△ 79	△ 31	△ 48	△ 38
II 固定資産	<u>24,838</u>	<u>26,194</u>	△ 1,355	<u>27,776</u>
有形固定資産	8,511	8,801	△ 290	9,038
建物及び構築物	2,388	2,291	96	2,331
機械装置及び運搬具	3,007	3,263	△ 255	3,401
土地	2,958	3,040	△ 82	3,147
建設仮勘定	1	53	△ 51	8
その他	154	152	2	150
無形固定資産	386	403	△ 17	407
投資その他の資産	<u>15,940</u>	<u>16,988</u>	△ 1,048	<u>18,329</u>
投資有価証券	6,258	7,470	△ 1,211	7,730
長期貸付金	5,119	5,293	△ 173	5,325
長期未収入金	6,716	6,673	43	6,140
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	1,546	939	606	1,415
繰延税金資産	<u>2,192</u>	<u>1,684</u>	507	<u>2,135</u>
その他	761	824	△ 63	851
貸倒引当金	<u>△ 6,655</u>	<u>△ 5,897</u>	△ 757	<u>△ 5,268</u>
資産合計	<u>50,308</u>	<u>46,878</u>	3,430	<u>52,633</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)	前連結 会計年度末 (18.3.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (17.12.31)
(負債の部)				
I 流動負債	28,626	23,709	4,916	28,466
支払手形及び買掛金	13,894	8,956	4,938	12,488
短期借入金	10,831	11,234	△ 402	10,878
未払法人税等	323	100	222	622
繰延税金負債	3	2	0	3
賞与引当金	186	359	△ 173	202
未払費用	1,483	1,206	276	1,430
その他	1,903	1,850	53	2,840
II 固定負債	8,209	9,345	△ 1,135	10,076
長期借入金	6,827	7,947	△ 1,119	8,633
繰延税金負債	21	21	0	47
退職給付引当金	1,341	1,357	△ 15	1,375
その他	20	20	0	20
負債合計	36,836	33,055	3,780	38,543
(純資産の部)				
I 株主資本	11,980	—	—	—
資本金	5,199	—	—	—
資本剰余金	4,947	—	—	—
利益剰余金	2,252	—	—	—
自己株式	△ 419	—	—	—
II 評価・換算差額等	1,484	—	—	—
その他有価証券評価差額金	1,430	—	—	—
繰延ヘッジ損益	53	—	—	—
III 少数株主持分	8	—	—	—
純資産合計	13,472	—	—	—
負債及び純資産合計	50,308	—	—	—
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	5	—	5
(資本の部)				
I 資本金	—	5,199	—	5,199
II 資本剰余金	—	4,947	—	4,947
III 利益剰余金	—	1,947	—	2,104
IV その他有価証券評価差額金	—	2,140	—	2,250
V 自己株式	—	△ 418	—	△ 418
資本合計	—	13,817	—	14,084
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	46,878	—	52,633

(金額単位：百万円未満切捨)

	当第3四半期	前連結会計年度末	前第3四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,363	1,698	1,646
2. 有形固定資産減価償却累計額	21,382	20,938	20,934
3. 保証債務	2,500	3,016	3,157
4. 債務保証予約	268	293	301
5. 経営指導念書	190	125	125
6. 自己株式数	4,212,471株	4,209,298株	4,208,147株

要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間 (18.4~18.12)	前第3四半期 連結会計期間 (17.4~17.12)	増 減	前連結会計年度 (17.4~18.3)
I 売 上 高	82,057	82,654	△ 596	108,223
II 売 上 原 価	73,464	73,602	△ 138	96,125
売 上 総 利 益	8,593	9,051	△ 458	12,098
III 販売費及び一般管理費	7,001	6,887	113	9,127
営 業 利 益	1,592	2,164	△ 572	2,970
IV 営 業 外 収 益	427	435	△ 8	557
受取利息及び配当金	110	102	7	126
その他の営業外収益	316	332	△ 16	430
V 営 業 外 費 用	438	534	△ 95	948
支 払 利 息	245	230	14	308
持分法による投資損失	17	143	△ 125	388
その他の営業外費用	175	161	14	251
経 常 利 益	1,580	2,065	△ 484	2,579
VI 特 別 利 益	50	—	50	262
固定資産処分益	50	—	50	262
VII 特 別 損 失	680	933	△ 252	1,951
固定資産処分損	14	—	14	—
貸倒引当金繰入額	531	153	377	1,095
役員退職慰労金	135	—	135	—
減 損 損 失	—	779	△ 779	779
投資有価証券等評価損	—	—	—	75
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,132	△ 181	891
法人税、住民税及び事業税	441	1,072	△ 631	374
法人税等調整額	2	△ 532	535	81
少数株主利益	2	1	0	1
四半期(当期)純利益	504	590	△ 86	433

要約四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日) (金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成18年3月31日残高	5,199	4,947	1,947	△ 418	11,676	2,140	—	2,140	5	13,823
当四半期連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			504		504					504
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間中の変動額						△ 710	53	△ 656	2	△ 654
当四半期連結会計期間中の 変動額合計	—	0	304	△ 0	303	△ 710	53	△ 656	2	△ 350
平成18年12月31日残高	5,199	4,947	2,252	△ 419	11,980	1,430	53	1,484	8	13,472

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間 (18.4~18.12)	前第3四半期 連結会計期間 (17.4~17.12)	前連結会計年度 (17.4~18.3)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,132	891
減価償却費	629	692	933
減損損失	—	779	779
引当金の増加額(△は減少額)	583	△ 35	712
持分法による投資損失	17	143	388
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 4,560	△ 2,494	499
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 713	△ 411	△ 494
その他の資産の減少額(△は増加額)	△ 276	△ 6	△ 682
仕入債務の増加額(△は減少額)	5,106	3,741	225
その他負債の増加額(△は減少額)	286	331	△ 71
法人税等の支払額	△ 2	△ 1,104	△ 791
その他の	△ 108	△ 96	△ 403
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,911	2,671	1,988
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	188	224	393
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 357	△ 600	△ 829
有形・無形固定資産の売却による収入	176	19	405
投資有価証券の取得による支出	△ 4	△ 103	△ 105
投資有価証券の売却による収入	41	19	28
その他の収入	△ 0	12	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	44	△ 427	△ 75
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 94	△ 1,422	△ 3,087
長期借入金の借入による収入	2,200	2,500	5,120
長期借入金の返済による支出	△ 3,627	△ 2,614	△ 3,900
預り担保金返済による支出	△ 122	△ 126	△ 315
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 200	△ 199	△ 199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,845	△ 1,862	△ 2,382
IV. 現金及び現金同等物の増加額	110	380	△ 469
V. 現金及び現金同等物期首残高	629	1,098	1,098
VI. 現金及び現金同等物期末残高	740	1,479	629

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	49,523	32,534	82,057	—	82,057
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	73	—	73	(73)	—
計	49,597	32,534	82,131	(73)	82,057
営業費用	47,484	32,314	79,799	666	80,465
営業利益	2,112	220	2,332	(740)	1,592

前第3四半期連結会計期間（自平成17年4月1日至平成17年12月31日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	48,051	34,603	82,654	—	82,654
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	90	—	90	(90)	—
計	48,142	34,603	82,745	(90)	82,654
営業費用	45,487	34,388	79,876	614	80,490
営業利益	2,654	214	2,869	(704)	2,164

前連結会計年度（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）

（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	63,323	44,899	108,223	—	108,223
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	107	—	107	(107)	—
計	63,431	44,899	108,331	(107)	108,223
営業費用	59,746	44,635	104,382	870	105,252
営業利益	3,684	263	3,948	(977)	2,970

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月31日

上場会社名 協同飼料株式会社

(コード番号：2052 東証第1部)

(URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 村井 弘一 TEL：(045) 461-5711

責任者役職・氏名 取締役経理部長 大友 彰

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。

- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	82,057	△0.7	1,592	△26.4	1,580	△23.5	504	△14.6
18年3月期第3四半期	82,654	△3.1	2,164	75.2	2,065	52.0	590	△45.0
(参考)18年3月期	108,223		2,970		2,579		433	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	5	06	—	—
18年3月期第3四半期	5	92	—	—
(参考)18年3月期	4	35	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期（平成18年4～12月）におけるわが国経済は、輸出及び設備投資の伸びにより拡大を示したものの、個人消費が伸び悩み力強さに欠ける展開となりました。

配合飼料業界におきましては、主要原料であるとうもろこしの国際相場は、主産地米国での大豊作が予想され低下傾向にありましたが、エタノール向け需要の急増、中国の輸出抑制並びに豪州での早ばつによる小麦の不作などに伴い、昨年秋から高騰を続けております。また、外国為替相場が期初からほぼ一貫して円安傾向を辿ったこと等により、原材料価格は次第に上昇するところとなり、昨年7月に値下げした配合飼料の製品価格を10月には値上げいたしました。

畜産物につきましては、鶏卵は国内生産が前期における減少からの回復が遅れたこと等から、相場は次第に堅調となりました。肉類は米国産牛肉の輸入が昨年7月に再開されたものの、国内生産が減少傾向を示したため相場は安定して推移しました。

こうした環境にあつて当社グループは、鶏・豚・牛の各畜種において特色ある新製品を発売するとともに、子牛・子豚用の人工乳を中心に販売数量の拡大を図りました。

その結果、売上高は、畜産物事業部門での取扱高の減少などから820億5千7百万円（前年同期比0.7%減）と減収となり、経常利益は配合飼料原料価格の上昇などにより15億8千万円（前年同期比23.5%減）と減益となりました。また、当四半期純利益は5億4百万円（前年同期比14.6%減）に止まりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円
19年3月期第3四半期	<u>49,716</u>	<u>12,880</u>	<u>25.9</u>	<u>129 00</u>
18年3月期第3四半期	<u>52,041</u>	<u>13,492</u>	<u>25.9</u>	<u>135 21</u>
(参考)18年3月期	<u>46,286</u>	<u>13,225</u>	<u>28.6</u>	<u>132 53</u>

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,911	44	△ 1,845	740
18年3月期第3四半期	2,671	△ 427	△ 1,862	1,479
(参考)18年3月期	1,988	△ 75	△ 2,382	629

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期の財政状態を前期末と比べますと、総資産は配合飼料製品の値上げにより売上債権が42億3千7百万円増加したこと等から497億1千6百万円と34億3千万円増加し、純資産は128億8千万円（前期末の株主資本は132億2千5百万円）となりました。

（連結キャッシュ・フロー）

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益9億5千万円、仕入債務の増加51億6百万円等により、売上債権の増加等があったものの、19億1千1百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、貸付金回収による収入1億8千8百万円等により、4千4百万円の収入となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、配当金支払2億円、長短借入金の純返済15億2千2百万円等により、18億4千5百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、7億4千万円となりました。

3. 平成19年3月期第3四半期の配当状況（個別）

当社は四半期配当制度を採用しておりません。

4. 添付資料

- ① 要約四半期連結貸借対照表
- ② 要約四半期連結損益計算書
- ③ 要約四半期連結株主資本変動計算書
- ④ 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑤ セグメント情報

以上

[参 考]

平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）

下表のとおり、平成 18 年 11 月 10 日公表の業績予想の修正はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 108,000	百万円 2,500	百万円 800

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 8 円 02 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

引き続き国際飼料穀物相場の上昇と外国為替相場の円安傾向を受けて、本年 1 月に配合飼料製品価格の値上げを実施いたしました。今後の見通しにつきましては、世界的な穀物需給動向が不透明であることや、再びわが国で発生が確認された高病原性鳥インフルエンザの拡大懸念等、見極め難い環境となっております。

こうした中で、当社グループは、飼料事業部門においては一層の販売数量増加により、畜産物事業部門においては特色ある畜産食品の開発により、業容の拡大と収益力の向上を図っており、予想通りの業績を確保するべく努めておりますので、通期の業績予想の修正はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)	前連結 会計年度末 (18.3.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (17.12.31)
(資産の部)				
I 流動資産	25,470	20,684	4,786	24,857
現金及び預金	743	632	111	1,483
受取手形及び売掛金	19,477	15,240	4,237	18,808
たな卸資産	3,706	2,993	713	2,910
繰延税金資産	85	142	△ 57	248
短期貸付金	319	334	△ 14	471
その他	1,217	1,372	△ 155	973
貸倒引当金	△ 79	△ 31	△ 48	△ 38
II 固定資産	<u>24,245</u>	<u>25,601</u>	△ 1,355	<u>27,184</u>
有形固定資産	8,511	8,801	△ 290	9,038
建物及び構築物	2,388	2,291	96	2,331
機械装置及び運搬具	3,007	3,263	△ 255	3,401
土地	2,958	3,040	△ 82	3,147
建設仮勘定	1	53	△ 51	8
その他	154	152	2	150
無形固定資産	386	403	△ 17	407
投資その他の資産	<u>15,348</u>	<u>16,396</u>	△ 1,048	<u>17,737</u>
投資有価証券	6,258	7,470	△ 1,211	7,730
長期貸付金	5,119	5,293	△ 173	5,325
長期未収入金	6,716	6,673	43	6,140
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	1,546	939	606	1,415
繰延税金資産	<u>2,604</u>	<u>2,096</u>	507	<u>2,547</u>
その他	761	824	△ 63	851
貸倒引当金	<u>△ 7,659</u>	<u>△ 6,901</u>	△ 757	<u>△ 6,272</u>
資産合計	<u>49,716</u>	<u>46,286</u>	3,430	<u>52,041</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)	前連結 会計年度末 (18.3.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (17.12.31)
(負債の部)				
I 流動負債	28,626	23,709	4,916	28,466
支払手形及び買掛金	13,894	8,956	4,938	12,488
短期借入金	10,831	11,234	△ 402	10,878
未払法人税等	323	100	222	622
繰延税金負債	3	2	0	3
賞与引当金	186	359	△ 173	202
未払費用	1,483	1,206	276	1,430
その他	1,903	1,850	53	2,840
II 固定負債	8,209	9,345	△ 1,135	10,076
長期借入金	6,827	7,947	△ 1,119	8,633
繰延税金負債	21	21	0	47
退職給付引当金	1,341	1,357	△ 15	1,375
その他	20	20	0	20
負債合計	36,836	33,055	3,780	38,543
(純資産の部)				
I 株主資本	11,388	—	—	—
資本金	5,199	—	—	—
資本剰余金	4,947	—	—	—
利益剰余金	1,660	—	—	—
自己株式	△ 419	—	—	—
II 評価・換算差額等	1,484	—	—	—
その他有価証券評価差額金	1,430	—	—	—
繰延ヘッジ損益	53	—	—	—
III 少数株主持分	8	—	—	—
純資産合計	12,880	—	—	—
負債及び純資産合計	49,716	—	—	—
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	5	—	5
(資本の部)				
I 資本金	—	5,199	—	5,199
II 資本剰余金	—	4,947	—	4,947
III 利益剰余金	—	1,355	—	1,512
IV その他有価証券評価差額金	—	2,140	—	2,250
V 自己株式	—	△ 418	—	△ 418
資本合計	—	13,225	—	13,492
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	46,286	—	52,041

(金額単位：百万円未満切捨)

	当第3四半期	前連結会計年度末	前第3四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,363	1,698	1,646
2. 有形固定資産減価償却累計額	21,382	20,938	20,934
3. 保証債務	2,500	3,016	3,157
4. 債務保証予約	268	293	301
5. 経営指導念書	190	125	125
6. 自己株式数	4,212,471株	4,209,298株	4,208,147株

要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間 (18.4~18.12)	前第3四半期 連結会計期間 (17.4~17.12)	増 減	前連結会計年度 (17.4~18.3)
I 売 上 高	82,057	82,654	△ 596	108,223
II 売 上 原 価	73,464	73,602	△ 138	96,125
売 上 総 利 益	8,593	9,051	△ 458	12,098
III 販売費及び一般管理費	7,001	6,887	113	9,127
営 業 利 益	1,592	2,164	△ 572	2,970
IV 営 業 外 収 益	427	435	△ 8	557
受取利息及び配当金	110	102	7	126
その他の営業外収益	316	332	△ 16	430
V 営 業 外 費 用	438	534	△ 95	948
支 払 利 息	245	230	14	308
持分法による投資損失	17	143	△ 125	388
その他の営業外費用	175	161	14	251
経 常 利 益	1,580	2,065	△ 484	2,579
VI 特 別 利 益	50	—	50	262
固定資産処分益	50	—	50	262
VII 特 別 損 失	680	933	△ 252	1,951
固定資産処分損	14	—	14	—
貸倒引当金繰入額	531	153	377	1,095
役員退職慰労金	135	—	135	—
減 損 損 失	—	779	△ 779	779
投資有価証券等評価損	—	—	—	75
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,132	△ 181	891
法人税、住民税及び事業税	441	1,072	△ 631	374
法人税等調整額	2	△ 532	535	81
少数株主利益	2	1	0	1
四半期(当期)純利益	504	590	△ 86	433

要約四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日) (金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成18年3月31日残高	5,199	4,947	1,355	△ 418	11,084	2,140	—	2,140	5	13,230
当四半期連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			504		504					504
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当四半期連結会計期間中の変動額						△ 710	53	△ 656	2	△ 654
当四半期連結会計期間中の 変動額合計	—	0	304	△ 0	303	△ 710	53	△ 656	2	△ 350
平成18年12月31日残高	5,199	4,947	1,660	△ 419	11,388	1,430	53	1,484	8	12,880

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第3四半期 連結会計期間 (18.4~18.12)	前第3四半期 連結会計期間 (17.4~17.12)	前連結会計年度 (17.4~18.3)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,132	891
減価償却費	629	692	933
減損損失	—	779	779
引当金の増加額(△は減少額)	583	△ 35	712
持分法による投資損失	17	143	388
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 4,560	△ 2,494	499
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 713	△ 411	△ 494
その他の資産の減少額(△は増加額)	△ 276	△ 6	△ 682
仕入債務の増加額(△は減少額)	5,106	3,741	225
その他負債の増加額(△は減少額)	286	331	△ 71
法人税等の支払額	△ 2	△ 1,104	△ 791
その他の	△ 108	△ 96	△ 403
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,911	2,671	1,988
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	188	224	393
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 357	△ 600	△ 829
有形・無形固定資産の売却による収入	176	19	405
投資有価証券の取得による支出	△ 4	△ 103	△ 105
投資有価証券の売却による収入	41	19	28
その他の収入	△ 0	12	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	44	△ 427	△ 75
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 94	△ 1,422	△ 3,087
長期借入金の借入による収入	2,200	2,500	5,120
長期借入金の返済による支出	△ 3,627	△ 2,614	△ 3,900
預り担保金返済による支出	△ 122	△ 126	△ 315
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 200	△ 199	△ 199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,845	△ 1,862	△ 2,382
IV. 現金及び現金同等物の増加額	110	380	△ 469
V. 現金及び現金同等物期首残高	629	1,098	1,098
VI. 現金及び現金同等物期末残高	740	1,479	629

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	49,523	32,534	82,057	—	82,057
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	73	—	73	(73)	—
計	49,597	32,534	82,131	(73)	82,057
営業費用	47,484	32,314	79,799	666	80,465
営業利益	2,112	220	2,332	(740)	1,592

前第3四半期連結会計期間（自平成17年4月1日至平成17年12月31日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	48,051	34,603	82,654	—	82,654
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	90	—	90	(90)	—
計	48,142	34,603	82,745	(90)	82,654
営業費用	45,487	34,388	79,876	614	80,490
営業利益	2,654	214	2,869	(704)	2,164

前連結会計年度（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）

（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	63,323	44,899	108,223	—	108,223
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	107	—	107	(107)	—
計	63,431	44,899	108,331	(107)	108,223
営業費用	59,746	44,635	104,382	870	105,252
営業利益	3,684	263	3,948	(977)	2,970

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。